

英語科学習指導案

令和4年12月14日(水)5校時
糸満市立糸満中学校 3年1組
授業者 玉城 昇太

1. 単元名

「提案します！私たちが海を守るためにできること」

<教材名> Program 6: The Great Pacific Garbage Patch (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

2. 単元の目標

海を取り巻く現状や課題について、考えたことや自分にできることなどを伝えるために、説明文を読み概要や要点を捉えることができる。 【読むこと】

3. 単元について

(1) 教材観

本単元は、私たちが日常的に出すプラスチックゴミが海の環境を脅かす深刻な問題となっていることを知り、個人や集団としてこの問題に対してどのような取り組みができるかを考えることができる題材となっている。題材となっている太平洋ゴミベルトという問題を通して、プラスチックゴミといった自分たちの身近にあるゴミが海洋環境とつながっていることや、沖縄や糸満の海を守るために自分たちができることを考えるきっかけとしたい。

また、本単元では、言語材料として関係代名詞（目的格）と関係代名詞の省略の文構造について学習する。前単元で扱う関係代名詞（主格）と比較することで理解を促したり、small talk のなどで英文をたくさん聞かせたりしながら理解につなげたい。

(2) 生徒観

本学年はおとなしい生徒が多く、授業中も積極的に発言する生徒は少ない。その背景には、英語に対する苦手意識があり、特に「読むこと」や「話すこと」について苦手意識を持っている生徒が多い。ただ、「英語ができるようになりたい」という気持ちを持っている生徒は多く、ペア・グループ学習には互いに協力して取り組み、授業には意欲的に取り組んでいる。そのため、生徒の苦手意識を和らげつつ挑戦できるような授業づくりに意識して取り組んでいる。

また、英文を聞いたり読んだりしたことについて、自分の意見や考えを付け加えてリテリングを行うような技能統合型の活動にも取り組ませており、生徒もそうした活動に慣れている。その中で、既習事項を活用し、自ら調べ、教師に尋ねるなどしながら、次第に自分の考えを伝えることができるようになってきている。一方で、「知識・技能」の定着には課題があるため、「思考力・判断力・表現力」との往還を意識しながら定着を図っていききたい。

(3) 指導観

本単元は、中学校学習指導要領外国語編（平成29年告示）の「(2) 読むこと」に関連する内容を取り扱い、「ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えるこ

とができるようにする」ことを目標とする。

そこで、本単元では、社会的な話題について書かれた短い文章を読んで概要や要点を捉えたりすることができるように、「読むとき」のポイントを提示しどのように読めば良いか生徒に意識させながらリーディング活動に取り組みさせる。また、教科書本文だけでなく、読み物資料も活用して、概要や要点を捉えさせ、書き手が一番伝えたいことに対する自分の考えなどを、英文を引用するなどして伝える活動を継続していく。これまでも Reading 1 や前単元の Program 5 で、読み方の指導を行ってきた。本単元においても、継続して読み方の指導を行うことで、文章の種類や読む目的によって読み方が異なることを実感させたい。また、生徒が主体的にリーディング活動に取り組むように、教材を読む中で分かったことや感じたこと、考えたことを踏まえ、沖縄や糸満の海の現状や課題を伝えるという目的・場面・状況の設定を行った。

本校は糸満市教育課程特例校「海人科」における海洋教育に取り組んでおり、生徒たちは1学年時に海洋ゴミについて学習している。また、学級活動をはじめ各教科においても日頃から SDGs の視点を取り入れた授業を行っている。海洋教育で学んだ内容や SDGs の視点を踏まえるなど、教科横断的な学習となるようにする。

GIGA スクール構想により、生徒は日頃からタブレット端末を活用して授業を行っている。英語科においては、学習者用デジタル教科書を活用した教科書音声や動画の視聴、またスプレッドシートを利用して授業の振り返りシートを入力させるなどに活用している。学習者用デジタル教科書は、家庭での音読練習や教科書本文の予習のために家庭学習でも活用している。

本校では、CAN-DO リストを活用し、その単元で身に付けたい力を明確にして授業を進めている。学習指導要領外国語編の目標にある「簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成すること」を踏まえ、本校においては「読むこと」における CAN-DO リストの学習到達目標を以下のように設定した。

中学校卒業時の学習到達目標	
日常的な話題や社会的な問題について、簡単な語句や文で書かれた文章から必要な情報を読み取ったり、文章の概要や要点を捉えたりすることができる。	
本校の各学年修了時の学習到達目標	
3 学年	社会的な問題について、簡単な語句や文で書かれた文章を読んで、概要や要点を捉えることができる。
2 学年	日常적인話題について、簡単な語句や文で書かれた文章を読んで、概要や要点を捉えることができる。
1 学年	日常적인話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要を捉えることができる。

本単元の指導において、以下の工夫を行う。

【指導の工夫】

- ①「読むとき」のポイントを提示し、内容や目的に合った読み方を紹介する。
- ②リーディングの様子を観察し、中間指導（単語指導・「読むとき」のポイントの確認）を行い、生徒への支援を図る。
- ③読み方の指導を継続して行うために、教科書本文に加え、関連した内容の自作教材も活用する。
- ④考えたことや感じたこと等を伝える際は、既習の伝える際の構成の型(OREO)を想起させる。

- ⑤学習活動の「振り返り」では、生徒の学習改善・授業者の授業改善につながるように、振り返りの視点を設定する。
- ⑥新出語句や単語については、教師側から全て与えるのではなく、英文を読ませながら必要に応じて指導を行う。家庭学習や単元終末に学習アプリ Quizlet を活用して単語の定着を図る。
- ⑦支援が必要な生徒については、あらかじめ新出単語の意味を記載した教科書のプリントを配布し、理解の支援につなげる。

4. 評価規準および評価方法（読むこと）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞（目的格）を用いた文の意味や働きを理解している。 ・環境問題について書かれた短い英文を読み取る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海を取り巻く現状や課題について、考えたことや自分にできることなどを伝えるために、説明文を読み概要や要点を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海を取り巻く現状や課題について、考えたことや自分にできることなどを伝えるために、説明文を読み概要や要点を捉えようとしている。
評価方法	ペーパーテスト (定期テスト)	ペーパーテスト (定期テスト)	ペーパーテスト (定期テスト)

※「話すこと」については、本単元で評価は行わないが、指導は継続して行い、別単元で評価を行う。

5. 単元の指導と評価計画

時間	■ねらい／・学習活動	知	思	態
0	<p>■単元目標を理解する。</p> <p>①単元目標の提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>糸満市内外の人に向けて、きれいな海を守るためのPR動画を作ります。沖縄や糸満の海の現状や課題を伝え、私たちができることを伝えるために、世界の海ではどのような現状や課題があるのか読み取ろう。</p> </div> <p>②「自己目標と目標達成のための工夫」を記入（振り返りシート）。</p>			
1	<p>■海を取り巻く現状や課題について、考えたことや自分にできることを伝えるために、説明文の概要や要点を捉えることができる。</p> <p>①Small Talk “Do you think corals are important? Why?”</p> <p>②自作教材① “Corals in Okinawa” を読む。</p> <p>・「読むとき」のポイントを想起させ、概要を捉える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「読むとき」のポイント</p> <p>概要（本文の大まかな内容）を捉えるとき</p> <p>①数字や名前、場所など、必要とするキーワードに着目！</p> <p>②5W1H（いつ・どこで・だれが・なに・なぜ・どのように）を意識！</p> </div>			

記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に活かすことは毎時行おう。活

	<p>③時や順序を表す語句に着目！ First, Second, Third, Finally, After that, Then など</p> <p>④各段落の最初の1～2文をまず読む！</p> <p>要点（文章で一番伝えたいこと）を捉えるとき</p> <p>⑤結果や結論を表す語句に着目！ So, Therefore, In conclusion など</p> <p>⑥筆者の意見や要点を述べる語句に着目！ I think～, We should～など</p> <p>③文章を読み、場所・問題・解決策に当てはまる部分に線を引く。</p> <p>④読んだ内容について分かったことや考えたこと、自分にできることを伝える。 ・まとまりのある文章にするために、伝える際の構成の型（OREO）を想起させる。</p> <p>⑤伝えたことや友達の意見を踏まえ、自分の考えを再構築し、その内容を書く。</p> <p>⑥まとめ・振り返り（自己評価と本時の振り返り）</p>	<p>記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に活かすことは毎時間行う。活動させているだけにならないように十分留意する。</p>	
2	<p>■海を取り巻く現状や課題について、考えたことや自分にできることを伝えるために、説明文の概要や要点を捉えることができる。</p> <p>①Small Talk “Which do you like, to swim in the sea or in a pool?”</p> <p>②自作教材② “The Problems and the Future of Plastics” を読む。</p> <p>③文章を読み、場所・問題・解決策に当てはまる部分に線を引く。</p> <p>④読んだ内容について分かったことや考えたこと、自分にできることを伝える。</p> <p>⑤伝えたことや友達の意見を踏まえ、自分の考えを再構築し、その内容を書く。</p> <p>⑥まとめ・振り返り（自己評価と本時の振り返り）</p>		
3	<p>■海を取り巻く現状や課題について、考えたことや自分にできることを伝えるために、説明文の概要や要点を捉えることができる。</p> <p>①Small Talk “Why do many tourists want to come to Okinawa?”</p> <p>②自作教材③ “Sea Garbage Problem in Our City” を読む。</p> <p>③本文の内容に合うように、ワークシートの絵を並べ替える。</p> <p>④読んだ内容について分かったことや考えたこと、自分にできることを伝える。</p> <p>⑤伝えたことや友達の意見を踏まえ、自分の考えを再構築し、その内容を書く。</p> <p>⑥まとめ・振り返り（自己評価と本時の振り返り）</p>		
4	<p>■海を取り巻く現状や課題について、考えたことや自分にできることを伝えるために、Think 1 の概要を捉えることができる。</p> <p>①Small Talk “What did you pick up at Bibi-beach?”</p> <p>②教科書本文（Think 1）を読む。</p> <p>③本文の内容に合うように、ワークシートの絵を並べ替える。</p> <p>④読んだ内容について分かったことや考えたことを伝える。</p> <p>⑤まとめ・振り返り（自己評価と本時の振り返り）</p>		

5 本 時	<p>■海を取り巻く現状や課題について、考えたことや自分にできることを伝えるために、Think 2 の概要や要点を捉えることができる。</p> <p>①Small Talk “Which do you often use eco-bags or plastic bags?”</p> <p>②教科書本文 (Think 2) を読む。</p> <p>③本文の内容に合うように、ワークシートの絵を並べ替える。</p> <p>④読んだ内容について分かったことや考えたことを伝える。</p> <p>⑤まとめ・振り返り (自己評価と本時の振り返り)</p>	<p>記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に活かすことは毎時間行う。活</p>
6	<p>■海を取り巻く現状や課題について、考えたことや自分にできることを伝えるために、Think 3 の概要や要点を捉えることができる。</p> <p>①海洋ゴミが動物に与える影響についての動画を見る。</p> <p>②Small Talk “What do you think about the garbage in the ocean?”</p> <p>③教科書本文 (Think 3) を読む。</p> <p>④本文の内容に合うように、流れについて書かれたメモを選ぶ。</p> <p>⑤読んだ内容について分かったことや考えたこと、自分にできることを伝える。</p> <p>⑥まとめ・振り返り (自己評価と本時の振り返り)</p>	
7	<p>■単語や文法のまとめ: 外国人観光客に、日本や沖縄の食べ物や文化を説明するために、グループで協力して説明文を作ることができる。</p> <p>①Quizlet を活用して単語の復習を行う。</p> <p>②日本や沖縄の食べ物や文化を説明するクイズを出す。</p> <p>③例を参考に、グループで協力してクイズを作る。</p> <p>④作ったクイズをグループ間に出し合う。</p> <p>⑤関係代名詞 (目的格) や接触節の特徴やきまりを確認する。</p> <p>⑥まとめ・振り返り (自己評価と本時の振り返り)</p>	
8 ・ 9	<p>■沖縄や糸満の海の現状や課題を伝えるための動画を作成することができる</p> <p>①本単元を通して学習してきたことや書いてきた自分の考えを基に、グループで協力して、沖縄や糸満の海の現状や課題を伝えるための動画を作成する。</p> <p>・伝える際の構成の型 (OREO) も想起させる。</p> <p>②タブレット端末を活用して動画を撮影し、提出する。</p>	
後 日	<p>■ペーパーテスト (定期テスト)</p>	

6. 単元末のペーパーテスト

(1) 内容 (「読むこと」)

海を取り巻く現状や課題について、考えたことや自分にできることなどを伝えるために、説明文を読み概要や要点を捉えることができる。

(2) 問題

【例1】次の文は、ショウタの環境問題についてのプレゼンテーションの最初の部分です。ショウタはプレゼンテーションで何を見せているか適切なものを選びましょう。

※「知識・技能」を評価する問題

Hello, everyone. I'm going to talk about an eco-friendly project that a coffee shop started. Look at this. This is an article I found. It's about companies that have started to reduce plastic waste. A major coffee shop chain has replaced plastic straws with paper straws. From this article, I knew about paper straws for the first time.

ア an article
ウ companies

イ coffee shop
エ plastic straws

【例2】環境問題についての動画を作成するために、インターネットで調べ学習をしていたところ、次のような記事を見つけました。動画で記事の内容を紹介するために、記事についての流れを表すメモを書いています。そのメモとして適切なものをア～エから1つ選び記号で答えましょう。

※「思考・判断・表現（概要）」を評価する問題

In Bali, plastic bags were thrown away by tourists and people living there. They were polluting the beaches. So two young sisters started a movement to stop using plastic bags in the island in 2013. The movement that they started spread through social media. Finally, the Governor of Bali decided to stop using all plastic bags from 2019.

So you see – people can start taking action in their daily lives. Take your bag when you go shopping. Recycle plastic. Don't give up on our beautiful Planet Earth!

ア
Problems in Bali
The movement which two sisters started
Our action we can start

イ
Problems in Bali
The movement which two sisters started
The Governor of Bali's decision

ウ
The movement which two sisters started
Our action we can start
Our beautiful Planet Earth

エ
Problems in Bali
Our action we can start
To take your bag and recycle plastic

(3) 評価基準

学期末のペーパーテスト（期末テスト）で3つの問題を出題した場合、正当数により当該ペーパーテストの結果を以下のように評価することが考えられる。

	「思考・判断・表現」の評価結果
3問とも正解だった場合	a
1～2問正解だった場合	b
3問とも不正解だった場合	c

7. 本時の展開

(1) 目標

海を取り巻く現状や課題について、考えたことや自分にできることを伝えるために、Think 2 の概要や要点を捉えることができる。

(2) 本時の展開（第 5/9 時）

過程	学習活動	教師の支援・指導上の留意点 ◇評価（方法）
導入 10分	①Small Talk “Which do you often use, plastic bags or eco-bags?” ②単元目標・本時のめあての提示	・授業前に生徒にタブレット端末の準備を促す。
展開 35分	③概要や要点を捉える ・教科書本文を読む ・概要をペアで共有 ・本文の内容に合うように、ワークシートの絵を並べ替える ・並び替えた内容をペアやグループで共有 ・中間指導 ・再度本文を読む ・全体で並び替えた内容や関連するキーワード等を確認する。 ・読んだ内容について考えたことや自分にできることを相手に伝えるためにメモする。 ④読んだ内容について考えたことや自分にできることを伝え合う。 ・1回目（横ペアで伝え合う） ・中間指導 ・2回目（縦ペアで伝え合う） ⑤数名の生徒に発表してもらい、全体で考えを共有する。 ⑥次の授業で伝えた内容を書くことを伝える。	※生徒は教科書・学習者用デジタル教科書どちらかを使用して読む。 ※支援が必要な生徒については、あらかじめ新出単語の意味を記載した教科書のプリントを配布する。 ◇活動の観察（指導に生かす評価） ・「読むとき」のポイントを意識させる。 ・中間指導（単語指導・読み方の指導）を入れて概要を捉えさせる。 ・教科書の文やこれまでの学習で自分が書いた文を参考にするよう助言する。 ◇活動の観察（指導に生かす評価） ・中間指導で、伝え方のポイントを意識させたり、クラスメイトの表現を紹介したりする。
まとめ 5分	⑦本時のまとめ・振り返りの記入 振り返りの視点 ・「読むとき」のポイントとして何を意識したか。 ・読んだ内容や自分にできることを伝えることができたか。	・振り返りの視点を与え、本時を振り返る。 ・生徒はタブレット端末の振り返りシートに入力する。

8. 板書計画

発表目標
糸満市内外の人に向けて、きれいな海を守るためのPR動画を作ります。沖縄や糸満の海の現状や課題、私たちができることを伝えるために、世界の海ではどのような現状や課題があるのか読み取ろう。

Goal
海を取り巻く現状や課題について、考えたこと
自分にできることを伝えるため
Think 2 の概要や要点を捉えることができる。

だれ・なに **する・です** **だれ・なに**

★ don't have eco-bags.
★ <1回し繰り返し → 何回も使える
★ use plastic bags many times
★ use plastic bags at home
★ have to buy plastic bags.
★ reduce garbage.
★ don't throw away garbage
★ pick up garbage

Who What When Why Which How

Day Wednesday
Date December 14th
Weather cloudy

★ harmful · bad
★ caught = catch
★ contain · have
★ gather · collect

eat plastics
fishing nets
the problem

garbage > fish
by 2050

gather garbage in the sea
the solution

80,000 tons